

文部科学省委託事業 青少年の体験活動の推進「体験活動推進プロジェクト」

豊かな実践活動・体験活動推進フォーラム

～青少年教育施設における多様な体験活動推進に向けて～ 開催要項

- 1 趣 旨 青少年を取り巻く様々な問題や課題を客観的かつ多角的にとらえ、未来を担う子供達にとってよりよい体験活動のあり方について考える場を醸成する。青少年教育、幼児教育、学校教育、指導者養成、企業との連携等、様々な分野からの実践発表や問題提起を受け、青少年教育施設における豊かな実践活動や体験活動を推進していくための方策を講じる場とする。
- 2 期 日 平成 29 年 11 月 25 日（土）13：00 ～ 11 月 26 日（日）12：30 解散予定
- 3 募集対象 青少年教育指導者、教員、学生、教育委員会関係者、保育者、自然体験活動に興味がある者、自然体験活動の指導者・指導者を目指す者、 等
- 4 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家
（協力）全国小学校学校行事研究会
- 5 後 援 新潟県教育委員会、上越市教育委員会 妙高市教育委員会 糸魚川市教育委員会
（申請予定）
- 6 全体指導 平野吉直 氏（国立大学法人信州大学 理事・副学長）
- 7 日程及び主な内容

1 日目（11 月 25 日）

- 12：30～13：00 受付（プレイホール）
- 13：00～13：15 開会行事（同上）
- 13：20～14：50 基調講演（同上）
～休憩～
- 15：00～16：40 シンポジウム（同上）
～休憩～
- 17：00～17：05 事務連絡（同上）
- 17：05～17：15 電子音楽ミニライブ（MASAKing 同上）
- 17：15～18：30 ポスターセッション（国立青少年教育施設）
企業ブース（アウトドアメーカー各社） （ミーティングルーム）
- 19：00～20：30 情報交換会（ダイニングホール銀河）

(1) 開会行事 （司会：平野有海 氏 ウェザーマップ気象予報士）

- ・開会の言葉 司会より
- ・主催者挨拶 国立妙高青少年自然の家 所長 伊野 亘
- ・主催者及び来賓紹介 国立妙高青少年自然の家 次長 桑山宗大
- ・来賓祝辞 新潟県教育委員会 教育長 池田幸博 様
- ・閉会の言葉 司会より

- (2) 基調講演 講師：(株) ミウラ・ドルフィンズ 三浦雄一郎 氏
演題：「3度のエベレスト登頂～大自然への挑戦と夢に向かって～」

(3) シンポジウム

(ねらい) 青少年に対して、青少年教育・幼児教育・学校教育・企業などの立場からどのように豊かな実践・体験活動を提供していくのか本シンポジウムにて明らかにする。

(テーマ案) 「今日の青少年の課題とこれからの豊かな実践活動・体験活動のあり方」

(コーディネーター) 平野吉直 氏

(シンポジスト) 坂本昭裕 氏 (筑波大学教授)
碓井幸子 氏 (清泉女学院短期大学准教授)
中村正雄 氏 (大東文化大学教授)
鈴木純一郎氏 (全国小学校学校行事研究会長)
笹谷秀光 氏 ((株)伊藤園 常務執行役員 CSR 推進部長)

(4) 電子音楽ミニライブ、ポスターセッション、企業ブース展開

- (5) 情報交換会 司会：国立妙高青少年自然の家 次長 桑山宗大

- ①開会の言葉 司会より
②挨拶 全国小学校学校行事研究会 会長 鈴木純一郎 氏
元国立妙高青少年自然の家 所長 宮川八岐 氏
③乾杯 国立大学法人信州大学理事・副学長 平野吉直 氏
～宴会～
④中締め 国立青少年教育振興機構 広域主管 三上 智
⑤閉会の言葉 司会より

2日目 (11月26日)

- 8:30～8:50 受付 (プレイホール)
9:00～11:30 分科会 (各会場)
11:40～12:10 全体会及び全体指導 (プレイホール)
12:10～12:15 閉会行事 (同上)

(1) 分科会

各分科会はその分野に精通した指導者を招き、それぞれの分野で先進的な取組を行っている発表者を3団体程度依頼し、青少年の体験活動推進に関わる普及啓発の機会とする。

- 9:00～9:35 事例発表①及び協議
9:35～10:10 事例発表②及び協議
10:10～10:45 事例発表③及び協議
10:55～11:30 講師指導

※指導者養成 (NEAL) 部会においては、事例発表①終了後、協議及び講師指導の時間となる。

【分担（敬称略）】

分科会名	青少年教育	幼児教育	学校教育	指導者養成 (NEAL)	企業
指導者	坂本昭裕 (筑波大学教授)	碓井幸子 (清泉女学院短期 大学准教授)	宮川八岐 (元文部科学省視学官)	中村正雄 (大東文化大学教授)	笹谷秀光 (株)伊藤園常務執行 役員 CSR 推進部長)
司会者	竹内政仁	米村 貴	伊野 亘	及川未希生	桑山宗大
発表者①	「MYOKO チャレンジ 2017」 岩田一紀 (国立妙高青少年自然の家)	「幼児キャンプ 2017」 米村 貴 (国立妙高青少年自然の家)	「セカンドスクール」 深沢陽子・坂口千尋 (江戸川区立 小松川第二小学校)	発表者兼指導者 佐藤繁一 (国際自然大学校)	環境教育「学びの森」 飯塚優子 (住友林業(株))
発表者②	「ネット依存関連キャン プ（国立赤城）」 根本純一 (茨城県教育庁)	「森のようちえん」 小菅江美 (てくてく)	「修学旅行 in 金沢」 辻本康平 (加須市立大桑小学校) 石原良介 (羽生市立羽生北小学校)		高村文生 (かけはし芸術 文化振興財団)
発表者③	「家裁との連携による 青少年の育成」 瀧 直也 (信州大学講師)	「信州やまほいく」 佐藤千晴 (信濃町立 柏原保育園)	「スプリングスクール」 佐藤厚彦 (安曇野市立 豊科北中学校校長)		次世代環境教育「水育」 森 揚子 (サントリー ホールディングス(株))
記 録	東 千香子	蟹江真耶	市川 哲	齋藤 晃	町田涼太

※指導者養成（NEAL）部会は、NEAL インストラクター資格更新の安全管理講習を兼ねる。

(2) 全体指導

11：40～12：10 全体指導 平野吉直 氏

(3) 閉会行事

12：10～ お礼の言葉 鈴木純一郎

8 定 員 300名 ※部分参加者等も含む

9 参加費 無料 （参加態様により、食費・シーツ等使用料・情報交換会費等の実費を集金する。）

10 申込方法 郵送またはファクス送信による。

11 申込締切 平成29年11月15日（水）

12 照会先

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6232-2

国立妙高青少年自然の家「豊かな実践活動・体験活動推進フォーラム」事務局（担当：米村）